



# 令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	03500000	建設水道部 上下水道課			
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	07	土木費	03	河川費	01	河川総務費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業		K P I	-	目標値	-	
中事業	11	主要な取り組み							
小事業	08	雨水流出抑制対策事業	目標年度	令和6年度					

インプット	事業実施の背景にある課題	降雨時における各家庭雨水の道路、河川への流出による浸水被害の拡大が問題となっている。資源の有効活用による持続可能な生活の実現が求められている。				
	事業目的	(1)対象(誰、何を対象にしていますか) 雨水タンクを設置する住民 (2)目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 補助金を交付することにより、雨水貯留浸透施設の普及促進を図る。 雨水貯留浸透施設を設置することにより、降雨時における河川への流出を削減し、浸水被害を抑制する。				
	事業概要	・雨どいを流れる水を雨水タンクに貯めて、災害などの断水時に生活用水として活用することができるため、補助金を交付して設置の普及促進をする。 ・河川へ流れる雨水を減少することで、河川周辺の浸水被害を抑制することにもなる。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額 決算額	695 128	590 39	470 10	463 47	463
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	90 / 10					

アウトプット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06	
	雨水貯留浸透施設の設置件数(件)	目標値	8	7	7	7	7
		実績値	4	2	1	4	

アウトカム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06	
	浸水被害件数(件)	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	2	1	0	0	

実績	実績	設置件数 簡易貯留施設 4件 補助金交付額 47,000円
	効果	雨水の有効利用により、水道水の節水及び災害時の水不足軽減となった。浸水被害の抑制につながった。

評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	ホームページや広報で周知啓発を続けているが、有効性などについて住民の認知度を上げることができなかった。設置件数について、目標は達成できなかったが、前年度からは伸ばすことができた。 令和6年度から活動指標を市報などによる普及促進の啓発回数(回)に変更しました。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	浸水被害については、降雨量による影響が大きいのが、抑制のいったんを担うことができている。 雨水貯留浸透施設の設置により、浸水被害をなくすことは困難なため、令和6年度からKPIを雨水貯留浸透施設の設置件数(件)に変更しました。
	実績からR06年度の事業の方向性	有効性の周知について、効果的に方法を検討し、実施していく。

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	05	下水道事業	事業主体	03500000	建設水道部 上下水道課				
大事業	66	6つのまちづくり宣言	款項目	01	下水道事業費用	01	営業費用	01	汚水管渠（流開公共）
		目指す姿	K P I	-				目標値	-
中事業	01	主要な取り組み	目標年度	令和6年度					
小事業	35	下水道維持管理事業（汚水）							

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	近年、豪雨などの影響による有収率の減少や固定費の増大により、経営環境に厳しさが増しているが、快適で衛生的な住環境を維持するため、施設の適切な維持修繕を実施していく必要がある。				
	事業目的	(1)対象（誰、何を対象にしていますか） 下水道使用者 (2)目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか） 汚水処理施設等の維持管理を計画的に行う事で、汚水を安定的にかつ適正に処理し、公衆衛生環境を守る。				
	事業概要	下水道事業の支出のうち、汚水管渠や汚水処理場の維持管理や料金徴収等に要する経費				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	845,910	855,834	848,820	909,786	986,413
	決算額	748,222	793,514	766,093	758,900	
	年間の事業に要する時間（正職員/正職員以外）	4,534 / 448				

アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	口座振替率（口座振替数/収納件数）（%） 3月分口座振替収納額を含む	目標値	88.3	88.4	88.5	88.6
		実績値	89.2	88.5	87.9	87.6

アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	収納率（収納額/調定額）（%） 3月分口座振替収納額を含む	目標値	98.6	98.7	98.8	98.9
		実績値	98.9	98.7	98.5	98.4

実 績	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水管渠の維持管理 97,250,506円</li> <li>・汚水処理場の維持管理 281,620,155円</li> <li>・水道事業への使用料徴収委託の実施など 110,399,030円</li> <li>・木曽川右岸流域下水道維持管理費 299,736,914円</li> </ul>
	効果	下水道施設の適正な維持管理と安定した料金収納

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	バーコード決済が普及してきていることから、口座振替からバーコード決済への移行もある。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	水道料金と同時に料金徴収を行っていることから、未納者への対応ができ、安定した料金収納につながっている。
	実績からR06年度の事業の方向性	同様の事業を継続していく。 R6年度は収納率向上のために、滞納者の実態調査など滞納整理にも力を入れていきたい。

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	12	上水道		事業主体	03500000	建設水道部 上下水道課		
大事業	69	6つのまちづくり宣言	款項目	01	水道事業費用	01	営業費用	
		目指す姿					01 原水及び浄水費	
中事業	01	主要な取り組み	K P I	-			目標値	-
小事業	01	水道維持管理事業	目標年度	令和6年度				

インプット	事業実施の背景にある課題	安心・安全な水の安定給水のため、浄水場や配水池、管路などの施設の維持管理及び修繕を迅速かつ適切に実施する必要がある。				
	事業目的	(1)対象(誰、何を対象にしていますか) 水道使用者 (2)目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 浄水場や配水池及び管路等の水道施設の維持管理を計画的に行う事で、安心・安全な水を安定的に供給する。				
	事業概要	水道事業の支出のうち、配水管や施設の維持管理や料金徴収に要する費用				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	955,340	989,844	1,067,030	1,069,512	1,053,662
	決算額	895,836	909,951	988,030	915,500	
	年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	12,090 /		4,485		

アウトプット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	口座振替率(口座振替数/収納件数)(%) 3月分口座振替収納件数を含む	目標値	87.3	87.4	87.5	87.6
		実績値	88	87.4	87.1	87.5

アウトカム	K P I(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	収納率(収納額/調定額)(%) 3月分口座振替収納額を含む	目標値	98.5	98.6	98.7	98.8
		実績値	98.7	98.6	98.4	98.2

実績	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県水受水及び浄水場の維持管理</li> <li>・配水池及び管路等の維持管理</li> <li>・料金の算定及び徴収の実施</li> </ul>
	効果	水道施設の適正な維持管理と安定した料金収納

評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	バーコード決済が普及してきていることから、口座振替からバーコード決済への移行もある。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	水道給水停止などにより、未納者への対応を行い、安定した料金収納につながっている。
	実績からR06年度の事業の方向性	継続して事業を実施していく。 R6年度は収納率向上のために、滞納者の実態調査など滞納整理にも力を入れていきたい。